

紫磨園在宅サービスセンターだより

平成22年8月号

再利用

二週間にわたって、牛乳パック工作を行いました。

平面の牛乳パックを組み立てて箱の形にしていき、最後にまわりに千代紙を貼って出来上がり。

「でき上がったら、何に使おうかな？」と思いを馳せながら・・・。

形は同じでも、千代紙の模様は一人一人違い、まさに世界にひとつだけの“私”の作品ができました。

大事に使ってくださいね！！



盛夏

梅雨が明け、いよいよ夏本番です。

季節の花は、アジサイからひまわりに変わり、太陽に向かつて元気に咲いています。

これから、気温も三十度を越す日が多くなりですが、熱中症には十分に気をつけ、この暑さを乗り切りましょう。

優秀な作品が出来上がりました。

二ヶ月に一回行っている俳句会ですが、とてもよい作品が出来上がりましたので、ここで発表させていただきたいと思えます。

七夕会の短冊より (願いがかないますように)

- ・ 早く自分で歩けますように
- ・ 子ども等の健康を祈る
- ・ 禁煙出来ますように。

六月の俳句から (感性が豊かですね)

- ・ 梅雨明けて 我が世とばかりせみが鳴く
- ・ 更衣 思い出多く 捨てきれず
- ・ かたつむり 雨々降れよ ぬれるまで
- ※更衣・・・衣服を着替えること・衣替え

共同工作

ひと月に一作品、利用者の皆様と職員の共同作業で作っています。

季節にあわせて下絵を描き、それに色をぬり、さらに、お花紙を丸めた物や、広告の紙を丸めて切った物などを使って仕上げしていきます。でき上がった作品は、廊下の壁に貼ってあります。

